

黒船の来航と疫病の侵入 (その1)

浦賀に黒船来航

嘉永6年(1853年)7月8日、ペリー提督率いるアメリカの艦隊、サスケハナ号以下4隻が、江戸湾の浦賀沖に来航しました。

当時の日本は鎖国体制下にありましたが、幕府は事前に、長崎出島(海外との唯一の貿易地)から「近々ペリー艦隊が来航する」という情報を得ていました。にもかかわらず、「太平の眠りを覚ます 上喜撰^{※1} たった四杯^{※2}で 夜も眠られず」と、世間は騒然となります。

ペリーは浦賀奉行に大統領からの国書を手渡し、翌年再び来航することを告げ、日本を離れます。翌年2月13日、ペリー艦隊はポーハタン号を旗艦に7隻で来航し、日米和親条約が締結されました。

黒船再来航に続き、日本では4月6日の京都大火に伴う内裏炎上、11月14日の関東南から四国にかけての巨大地震と大津波(マグニチュード8・4超、死者1万人以上)など、大事件が続発。これを受けて11月27日、元号が安政と改められます。

安政5年(1858年)6

月19日、ペリー率いるシシッピー号、ポーハタン号が相次いで伊豆下田に再来航します。その目的は、交渉中だった日米通商条約へ圧力をかけることにありました。

この2隻の軍艦は中国上海から来航したもので、下田へ来るまでに長崎にも寄港しています。

ミシシッピー号出航後、 長崎でコレラが流行

ミシシッピー号出航後の長崎では、激しいおう吐や水のような便、手足がしわくしゃくなる、目がくぼむ、体が干からびる、手足のけいれんなどの症状で、数日のうちに亡くなる人が続出します。悪疫、いわゆるコレラの流行です。コレラは発症後すぐに命を落とすことから「虎狼痢」とも呼ばれます。

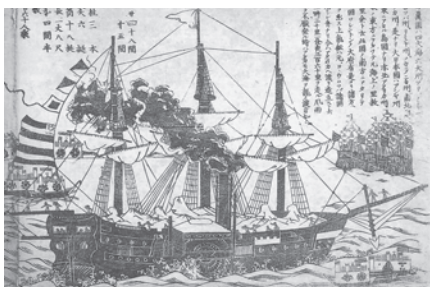
出島で医学を伝えていたオランダの軍医、ポンペは、日本人医師たちを指揮して治療と予防に努めます。しかし、8月下旬に流行が終息するまでの約2か月間で、長崎では1583人が発症、767人が死亡。大坂や江戸にも拡大し、大坂で1万人、江戸で3

4万人の死者が出たといわれます(小長谷正明『世界史を変えたパンデミック』)。

原因が分からなかった当時、民衆は神仏に救いを求め、神輿を担ぎだしたり、獅子頭を振りかざして集団で練り歩いたり、しばしば暴走するところがありました。元号の「安政」とは裏腹に、市内の治安は極度に悪化していきます。「疫病は黒船が持ち込んだ」「力に屈して不平等条約を結ばされた」と、外国人に対する世論は、一層厳しさを増していきました。

※1 上喜撰……高級茶の銘柄で、蒸気船(黒船)と掛けたもの。

※2 杯……船数の単位。



嘉永6年、最初に来航したサスケハナ号(出典:『日本全史』講談社)

広川町古墳資料館だより

昭和56年、記録保存のために「大塚1号墳」が調査され、全国的にも珍しい古墳であることが分かりました。6世紀後半の大型円墳(高さ約3メートル×径約22メートル)の墳丘内に、2つの横穴式石室(双墓)が築造されていたのです。

通常は1墳丘1石室ですが、被葬者が親しい血縁関係にあった場合、墳丘内に複数の石室が造られた

と考えられます。石室からは、鉄地金銅張りの留金具に貝製品をはめ込んだ豪華な馬具などが出土しており、これらの出土品や古墳の復元モデルを、現在資料館で展示しています。

大塚1号墳自体は指定文化財ではないものの、広川町の古墳文化を考えるうえで貴重なものです。



総合クラブひろかわ

スポーツ吹矢教室を再開！

新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた「スポーツ吹矢教室」を8月から再開しました。広い会場で窓やドアを開け、エアコンを使い、3密を避けています。

スポーツ吹矢は息を使って矢を放ち、円形的のどこに当たったかで点数を競います。複式呼吸を基本に矢を放つため、集中力や精神力が必要です。高血圧・糖尿病・腰痛の予防や、

ストレス解消、脳の老化防止、免疫力を高めるなどの効果もあります。

入会を希望する場合は、総合クラブひろかわ事務局へご連絡ください。



スポーツ吹矢教室

[日時] 毎週(火) 10:00 ~ 12:00

[会場] 「はなやぎの里」3階
多目的ホール

[料金] 月額 2,000 円 (保険代を含む)



問 総合クラブひろかわ事務局 (教育委員会事務局生涯学習係内) ☎ 0943-32-0093

広川文芸

ひろかわ俳句会



豪雨あと夏草食みし阿蘇の牛
露草を語る翁の山路かな
棄て畑の身の丈越ゆる夏の草
夏草や鎌振る母のまるき背せな
夏草の繁れるままの古戦場
紫陽花は小雨の似合ふ青が好き
夏草の刈られてあらは風之道
コロナ禍を知るや知らぬや合歡の花
夏草や誰そ住みしかこの苦屋
老ひの身といたちごっこや夏の草
雨雲の切れ一斉に朝の蝉
神籠石こうごいし巡る山道せみの声
夏草の向ふに飛びし竹とんぼ
夏草に埋うずもれ羅漢の困り顔

櫻の会

精米の水車のリズム心地よく子守唄のハミングに似て
朝夕に悲しく甘える老犬に寄り添ひ歩く夫の姿よ
盂蘭盆会うらぼんえ逝えきし父母恋ふ夕べ迎へ火たきて両手合はする
新盆に双子の孫は行儀よくはにかみながら鈴鳴らし合ふ
うら若き乙女の頃の姿なら描いてほしいフェルメール風
頭垂れ雨の涙に光秀の姿重なる桔梗花かな
わが庭に精霊蜻蛉の群が舞い亡夫の香残して何処へか去る
老二人けふも朝から大笑ひ互ひの失敗棚に上げつつ
その色にゆゑなく心惹かれますお帰りなさい精霊蜻蛉

野中 勝美
濱武美智子
山崎美代子
一瀬美智子
池田 和代
中倉 朋美
細川 徳子
中嶋 玉子
青木佳代子

一瀬砂智子
原口あつ美
水本 艶子
結末 節子
野中 勝美
美座 時朗
柴田 眞理
渡辺 弘子
福田美知子
酒井 司
水本 辰次
原口 正信
青木佳代子
山崎 陽子

まちのわだい



八女支部大会で準優勝 広川少年野球クラブ

7月4日(土)〜8月1日(土)、広川町と八女市で開催された「高円宮賜杯第40回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント」八女支部大会で広川少年野球クラブが準優勝しました。

8月1日(土)に行われた決勝戦では、3点を先制される苦しい展開の中、持ち前の粘り強さで5回に同点に追いつき、3対3で試合終了。規定による抽選の結果、準優勝となり優勝準優勝チームが出場する北筑後地区大会への進出を決めました。

部員募集中! 体験・見学にお越しください

間監督・下村
090・3326・1667

新地域おこし協力隊員 森音広夢さん

8月1日(土)、新たな地域おこし協力隊として、森音広夢さんが着任しました。

京都府で生まれた森音さんは、幼少期を海外で過ごし、帰国後、学業と並行して起業。現在はジャーナリスト、デザイナーとして京都・東京・札幌など数多くの場所で活躍しています。伝統工芸家としての一面もち、からくり人形などの作品を国内外の展示会へ出展しています。

森音さんは「国内外へ広川町の魅力を発信していきたい」と話しており、今後、これまで培ったノウハウや人脈を活かし、町内の農産物をつかった商品開発や、SNSでの情報発信などに取り組む予定です。



博多銘菓雪うさぎを提供 風月フーズ(株)



8月4日(火)、風月フーズ(株)から町内の小中学生へ「博多銘菓雪うさぎ」が配られました。

毎年、広川町と風月フーズ(株)で「親子でハンバーグ教室」を開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止。「子どもたちに何か明るい話題が提供できないか」という統括支配人の森田さんの思いから実現しました。

血液不足受け 118 人が協力 町内 2 か所で献血



8月3日(月)、広川町役場とアスタラピスタ広川店の駐車場で献血が行われ、118人が協力に訪れました。福岡県赤十字献血センターによると現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、患者に届けるために必要な血液が大変不足しているとのこと。「皆さんの協力のおかげで、多くの患者の命が救われている」と、感謝していました。